

(3) 売上原価と期末商品の評価

ア 売上原価の算定

① 三分法

三分法は商品売買を「仕入(費用)」「売上(収益)」「繰越商品(資産)」の3要素で売上原価を算定する方法。

・期首商品棚卸高 30 円、当期商品仕入高 250 円、期末商品棚卸高 40 円であった。決算整理仕訳を行い、売上原価を算定せよ。

② 販売の都度売上原価勘定に振り替える方法(売上原価対立法)

・商品 200 円(@10 円×20 個)を仕入れ、代金は現金で支払った。

・上記の商品のうち 300 円(@20 円×15 個)で売り渡し、代金は現金で受け取った。

・期首商品棚卸高 30 円、期末商品棚卸高 40 円であった。決算整理仕訳を行いなさい。

【解答】

(4) 売上原価と期末商品の評価

ア 売上原価の算定

① 三分法

三分法は商品売買を「仕入(費用)」「売上(収益)」「繰越商品(資産)」の3要素で売上原価を算定する方法。

・期首商品棚卸高 30 円、当期商品仕入高 250 円、期末商品棚卸高 40 円であった。決算整理仕訳を行い、売上原価を算定せよ。

仕入 30 / 繰越商品 30

繰越商品 40 / 仕入 40

売上原価 240 円

② 販売の都度売上原価勘定に振り替える方法(売上原価対立法)

・商品 200 円 (@10 円 × 20 個) を仕入れ、代金は現金で支払った。

商品 200 / 現金 200

・上記の商品のうち 300 円 (@20 円 × 15 個) で売り渡し、代金は現金で受け取った。

現金 300 / 売上 300

売上原価 150 / 商品 150

・期首商品棚卸高 30 円、期末商品棚卸高 40 円であった。決算整理仕訳を行いなさい。

仕訳なし